

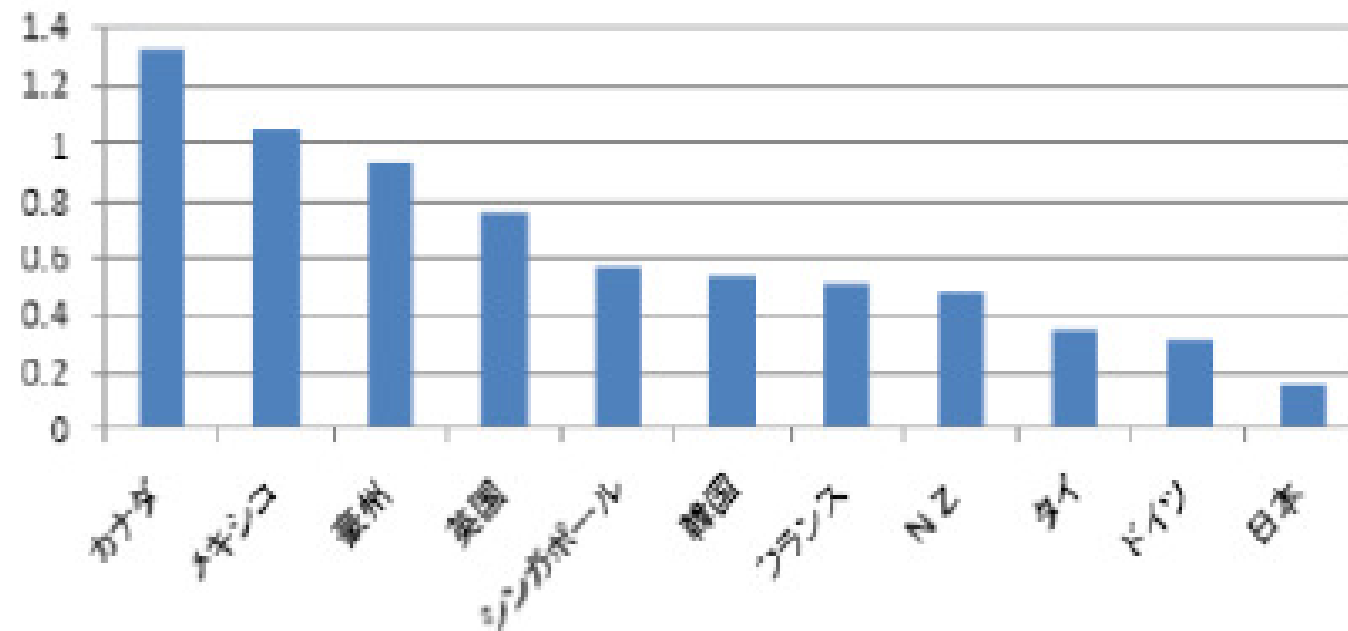
結核の相対危険度

AIDS	170.3	低体重	2.2 - 4
HIV感染者	110	多重喫煙	2.2
珪肺	30	胃切除	5
頭頸部の癌	16	空腸・回腸バイパス	2.7 - 6.3
血友病	9.4	糖尿病	3
免疫抑制薬治療	11.9	やせ形の人	3
人工透析	10 - 15		

インフルエンザ(H1N1)2009の死亡率比較

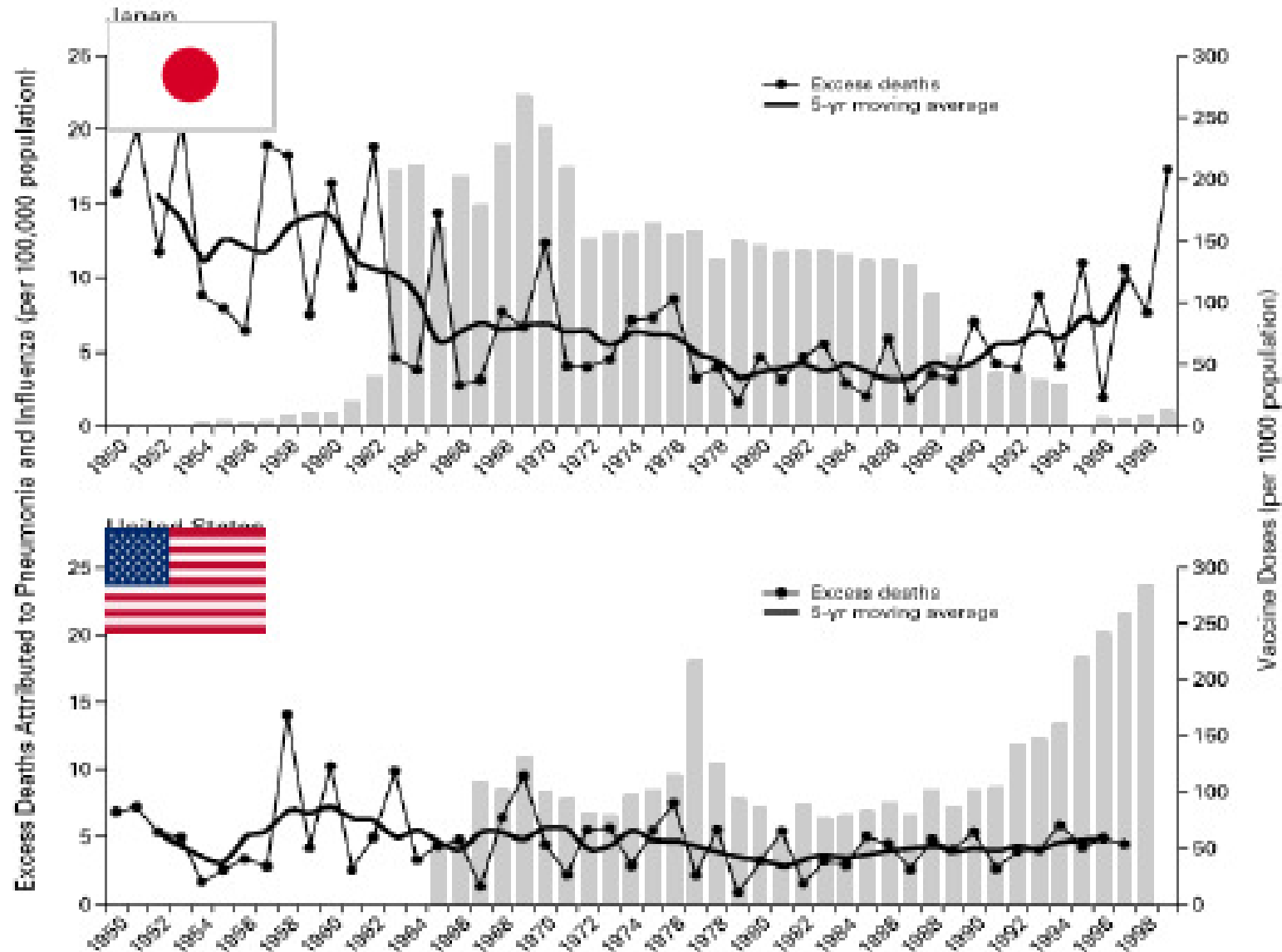
	米国	カナダ	メキシコ	豪州	英国	シンガポール	韓国	フランス	NZ	タイ	ドイツ	日本
集計日	3/13	4/10	2/12	2/12	3/14	4月末	5/14	—	3/21	—	5/18	5/26
死亡数	推計 12,000	428	1,111	191	457	25	257	312	20	225	255	199
人口10万対死亡率	(3.96)	1.32	1.05	0.93	0.76	0.57	0.53	0.51	0.48	0.35	0.31	0.16
PCR	—	全例	—	—	—	全例	全例	100名はPCRで確定	—	全例	—	154名はPCRで確定

※尚、各国の死亡数に関してはそれぞれ定義が異なり、一國的に比較対象と成らないことに留意が必要。



出典: 各国政府・WHOホームページから厚生労働省で作成

インフルエンザワクチン接種と死亡数



インフルエンザワクチンの接種対象

● ハイリスクグループ

- 1) 65歳以上の高齢者
- 2) 高齢者施設、慢性疾患患者施設入所者
- 3) 喘息を含む慢性肺疾患、慢性心臓血管系疾患の成人・小児
- 4) 糖尿病を含む代謝疾患、腎機能障害、血色素疾患、免疫力低下のために過去1年間定期通院や入院している成人・小児
- 5) 長期間のアスピリン治療により、インフルエンザ後のライ症候群に罹患する危険性がある生後6ヶ月から18歳の人
- 6) インフルエンザ流行期に妊娠第2～第3半期にある妊婦

● 50歳～64歳の人(アメリカ)

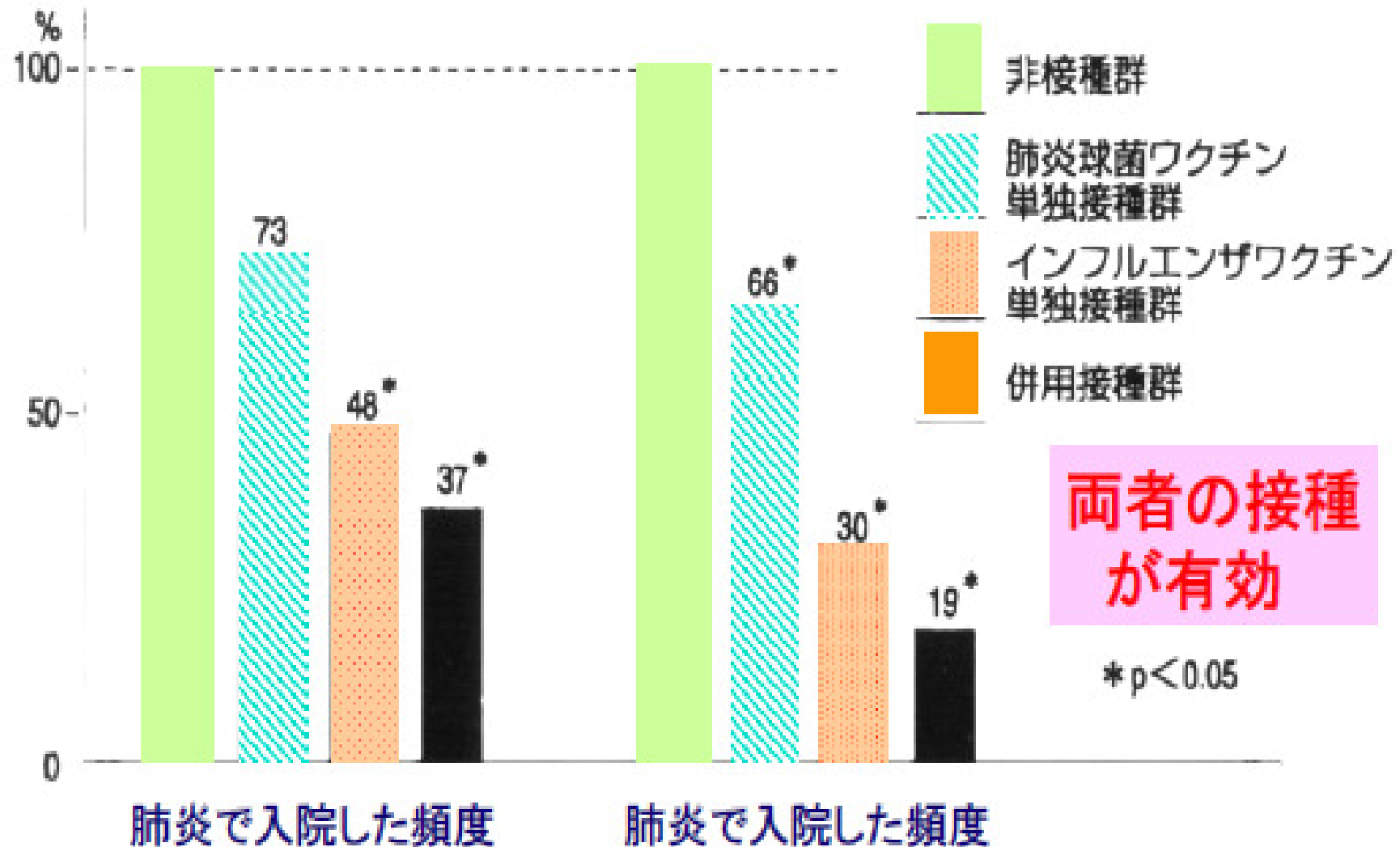
● ハイリスクグループの接触者

医療従事者、職員、介護員、患者の家族など

● その他

生後6ヶ月～23ヶ月の乳幼児、母乳保育の母親、旅行者、接種希望者(生後6ヶ月以上)

肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチンの 接種群および非接種群との比較



日常生活におけるインフルエンザの予防



- 栄養と休養を十分取る

- 人ごみを避ける



- 適度な温度, 湿度を保つ

- 外出後の手洗いとうがいの励行



- マスクを着用する

- ワクチンを接種する